

令和6年度 第1回市川市地域ケア推進会議

令和6年8月21日(水)

18時～19時30分

市川市役所第1庁舎 5階 第3委員会室

本市の地域ケア推進会議が目指すもの

- 地域ケア会議※で抽出された「個別課題」及び「地域課題」を共有

※地域の支援者や保健医療及び福祉に関する専門職が協働し、介護支援専門員のケアマネジメント支援を通じて、高齢者が住み慣れた住まいで生活することを目的に実施

- 課題解決に向けた方向性を話し合うことで、地域づくり、連携体制の構築、政策形成につなげる

- 共有した課題を持ち帰り、多様な主体による資源の創出・連携につなげる



本日の議題

議題 1 「居場所」への移動支援について

①前年度の振り返り

②課題の共有

③実施状況についての情報提供

④意見交換

議題 2 令和 5 年度の地域ケア会議の報告

議題 3 第 2 回会議における議題について

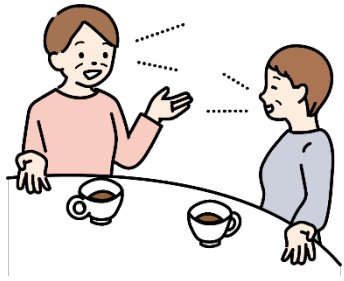
議題 4 その他

議題1 「居場所」への移動支援について

①前年度の振り返り

【タイプ0】
住民を取り巻く多様なつながり

近所の公園・地域行事
図書館・カラオケ
ショッピングモール
カフェ・馴染みの飲食店
スポーツジム 等



【タイプⅠ】
生きがい楽しみ

いきいきセンター
公民館の活動
体育館等のサークル
カルチャースクール
ボランティア・NPO活動 等

【タイプⅡ】
交流(孤立予防)

てるぼサロン
高齢者クラブの集まり
認知症カフェ
家族介護教室
地域ケア拠点 等

【タイプⅢ】
心身機能
維持・向上

市川みんなで体操
健康スポーツ教室
デイサービス 等



市川市には、多様な「居場所」がある

本人の興味・関心に応じた「居場所」へのアクセス(つなぎ)が重要である

議題1 「居場所」への移動支援について

①前年度の振り返り

各団体からの「居場所」へのつながりに関するご提案

現在各団体で取り組んでいること

- さまざまな場所でのパンフレットやチラシ、ポスター等による周知
 - ホームページを検索しやすくする
 - 会員による口コミ活動
 - 組合員同士の援助活動にて、病院や買い物等の付添い
 - 地域の方から個別に依頼があった地域イベントのご案内の掲示
 - 地域の方との交流を目的としたバスツアーを主催
 - 各自治(町)会で市からの情報を回覧・掲示
 - 高齢者サポートセンターに情報(パンフレット)を配架
 - 移動支援の情報提供
- など

議題1 「居場所」への移動支援について

①前年度の振り返り

各団体からの「居場所」へのつなぎに関するご提案

今後取り組みそうなこと

- 居場所の情報提供、声かけ
- 新規サロンの立上げ支援や既存サロン充実のための支援
- 主体的に参加できる場の提供(ボランティア活動への参加支援)
- ボランティアの育成・講座の開催
- 自費サービスになるが、移動支援はできるかも
- つながりたいと思っている方のお宅に訪問し、案内等ができればよい。
- 各自治(町)会で「きょういくところ」など、居場所の情報を回覧・掲示
- 団体のホームページに掲載し情報提供 など

議題1 「居場所」への移動支援について

①前年度の振り返り

次年度に向けた取り組み

圏域毎の居場所マップの作成

R6年度4月より、市内15か所の圏域毎に生活支援コーディネーター(SC)を専任で配置。

SCが中心となり、圏域毎の居場所だけでなく、病院や買い物など生活につながる情報を含めたマップ等を作成。

居場所への移動の課題に関する検討

令和6年度の会議テーマとする



議題1 「居場所」への移動支援について

②課題の共有

個人要因

- ・土地勘がなく、一人で行けない
- ・新しい場所が不安で一人で行けない
- ・認知機能低下により、一人で行けない
- ・乗り物に一人で乗り降りできない
- ・徒歩での外出は億劫

一人での外出への不安
初めての場所への参加が不安・・・
など外出や移動に不安を抱えている

環境要因

- ・公共施設へのアクセスが悪い
- ・公共交通機関の不便な地域がある
- ・タクシーがつかまらない
- ・バス停で座って待つ場所がない
- ・坂や階段が多い

地域により差があるものの、
公共交通機関などを利用し、移動するうえでの不便さを抱えている

- (趣味や娯楽のための)居場所まで費用をかけてまで行く気にならない
- 買い物や病院受診のためなら外出する

議題1 「居場所」への移動支援について

②課題の共有

支援者側の意見

- ・既存の居場所の詳細や特徴を把握しきれておらず、きめ細やかなつながりができていない。
- ・初めて行く人もなじめるよう、地域活動サポーターのような人材を育成できたらよい。
- ・仮に地域での乗り合い等で事故があった際にも対応できる仕組みが必要。
- ・初回だけでも居場所への移動に同行して下さる方がいるとありがたい。



●支援対象者と居場所のマッチング

●居場所への同行、初回参加時などに地域住民が主体となるサポーター的な存在

⇒今後SCが担う部分

●地域での支えあい ⇒仕組みや関係づくりが必要

議題1 「居場所」への移動支援について

③現在行われている移動支援

生活協同組合コープみらい

くらしのたすけあいの会(組合員同士の援助活動)にて、病院や買い物等の付添い

NPO法人

- 福祉有償運送の対象となる方

⇒通院、買物、銀行、墓参り、余暇活動などへの移動支援

- タクシーを利用した、通院、買物の付き添い

⇒一人での移動が不安な方や、目的地での支援も含めた移動支援

※居場所への移動支援については、費用をかけてまでのニーズはない様子

議題1 「居場所」への移動支援について

③現在行われている移動支援

第2層生活支援コーディネーター

- 民生委員さんに協力を依頼し、居場所まで一緒に行ってもらった。
- コルトンバスやクリーンスパ市川などが運営する路線バスを案内する。
- 高齢者サポートセンターまで来てもらい、そこから居場所まで一緒に行く。
- サロンの中で仲良くなった人同士で行くよう促している。
- サロンの運営者に相談し、参加者同士での声かけや同伴を依頼（認知症の方）
- 場所を覚えるまでは同行し、場所を覚えてからは一人で行けるよう促す。
- 地域住民や民生委員さんと協力し、通える範囲の場所に新たに居場所をつくり一人でも通えるようにした。

「居場所」に一人で行けるような支援、住民同士で行けるような支援
新たに通える場所に居場所をつくる支援など

議題1 「居場所」への移動支援について

③現在行われている移動支援

地域で行われている支援

- 民生委員さんが近隣の方を誘い、参加している。
- 地域ケア相談員が途中までお迎えに行ってくれている(認知症の方)。
- 不動産会社(認知症にやさしいお店登録店)の方が、認知症カフェと一緒に参加している。
- 自治会の協力もあり、近隣住民同士で誘い合って参加している。
- 長く参加している住民同士で声をかけあい参加している。
- 初回は家族が一緒に行ってもらうことで、2回目以降は一人で参加可能に。
- 家族が車に乗せて送り迎えをしている
- 他の参加者の家族が送迎する車と一緒に載っている

家族の支援、地域でのつながりによる支援など地域毎にちがいがあ

議題1 「居場所」への移動支援について

③現在行われている移動支援

市川市の取組 コミュニティバス

市内の交通不便地域解消を目的に、北東部・南部ルートを平成17年10月より運行。
各ルートの実行委員会(市民・運行事業者・市)が主体。

【北東部ルート】

- ・便数:往復)月～土曜10便、日祝日13便
:循環 右・左)月～土曜17便、日祝日 運休

- ・運賃 :現金)大人160円、小児100円
IC)大人157円、小児100円

【南部ルート】

- ・便数:平日52便、土日祝日48便
- ・運賃 :現金)大人160円、小児100円
IC)大人153円、小児100円



北東部ルート「梨丸号」



南部ルート「わくわくバス」

議題1 「居場所」への移動支援について

③現在行われている移動支援

市川市の取組 コミュニティバス

南部ルート(わくわくバス)のより安定した運営
を図るため、令和6年2月より1年間の検証実
験として、**行徳ルート**と**南行徳ルート**を運行。

【行徳ルート・南行徳ルート】

- ・毎日同じダイヤにて運行
- ・運賃(現金前払い) 大人200円 小児100円
(交通系ICカードの利用不可)



議題1 「居場所」への移動支援について

③現在行われている移動支援

市川市の取組 チケット75

75歳以上を対象に市内で利用できるバス・タクシーチケットを支給(チケット75)

【支給枚数】

バス :10枚、タクシー:5枚

【利用方法】

バス:精算時にチケット1枚と現金100円をお支払い
市内発または市内着の主要路線のみ利用可
(一部市外での利用可)

タクシー:精算時にチケット1枚と500円を差し引いた
運賃をお支払い
市内発または市内着の乗車区間のみ利用可



令和6年度の受付を開始します!

ゴールドシニア75+
チケット75
ICHIKAWA CITY 75+
GOLD SENIOR

市川市では、市内在住のゴールドシニア(75歳以上の方)を対象に、
外出を促進し健康寿命の延伸を目的として、
市内で利用できるバス・タクシーチケットを支給します

バス	タクシー
バスは 10枚 チケット1枚と100円	タクシーは 5枚 チケット1枚 500円分の補助

バス利用の流れ

- バス
- チケットと現金100円を用意
- いつも通り乗車
- チケットを利用する旨を乗務員へ

タクシー利用の流れ

- タクシー
- いつも通り乗車
- 支払時にチケットを乗務員へ
- 500円を差し引いた運賃を支払い

※ 令和6年度は予算の上限に達し次第、受付を終了します。

問合せ 市川市 福祉部 地域包括支援課 ☎ 047-712-8385

申請はこちら

議題1 「居場所」への移動支援について

③現在行われている移動支援

市川市の取組

チケット75申請者の状況

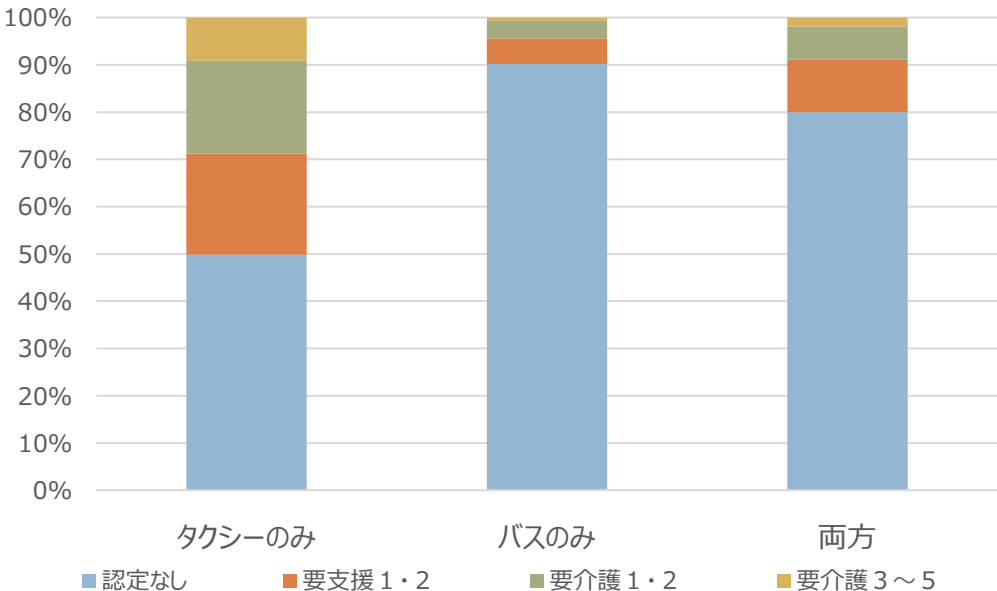
- 申請割合(人口に占める申請者数)は約2割
- 申請割合が最も高いのは、「要支援」の「女性」(36%)
- 「タクシーのみ」の申請は、要介護・要支援認定者が半数超

▼各人口に占める申請者割合

介護度／性別	女性	男性	合計
認定なし	27%	21%	24%
要支援1・2	36%	31%	35%
要介護1・2	15%	22%	18%
要介護3～5	5%	10%	6%
合計	24%	21%	22%

データ:いずれも令和5年度の「チケット75」支給決定者

▼チケット種別でみた申請者の要介護度



議題1 「居場所」への移動支援について

③現在行われている移動支援

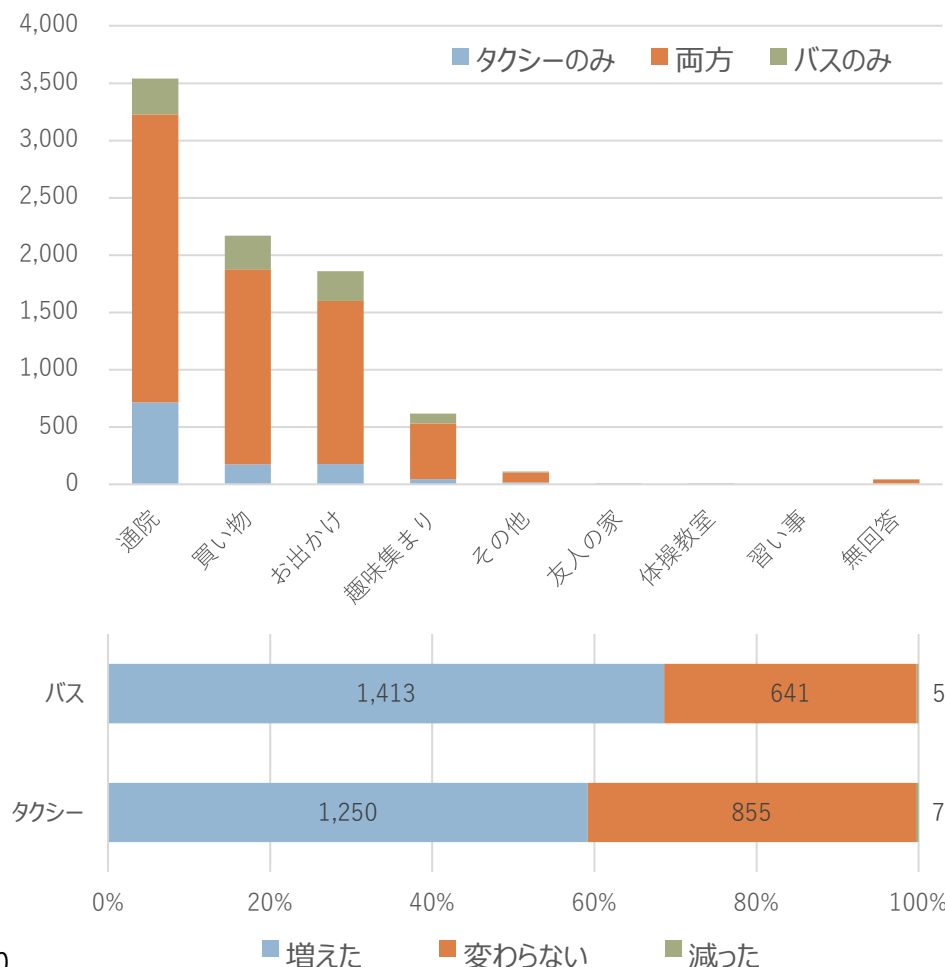
市川市の取組 チケット75申請者の状況

申請の目的

- 目的(複数回答可)は「通院」が最多、「買い物」や「お出かけ」が続く
- 特に「タクシーのみ」申請者では8割以上が「通院」を目的として挙げている

(前回チケットによる)外出の増

- 「チケットにより自身の外出が増えたか」については、バス・タクシーとも「増えた」が6～7割程度で、「変わらない」を上回る



データ：令和6年度「チケット75」オンライン申請者に対するアンケート（7月20日時点）より

議題1 「居場所」への移動支援について

③現在行われている移動支援

他市での取組

事業所の送迎車両等を活用した取組

●船橋市

事業名	内容	費用負担
交通不便地域支援事業	高齢者を対象 に、自動車学校、教習所の送迎バス空席や、老人福祉センターが有する送迎バスの空き時間を利用し、交通不便地域支援の移動支援を行う	なし

●野田市

事業名	内容	費用負担
事業所送迎バスを活用した移動支援事業	高齢者(事前登録制) を対象に、教習所の送迎車両を活用し、病院、駅、商業施設などへの移動支援を行う	なし

●我孫子市

事業名	内容	費用負担
高齢者等外出応援事業	高齢者 及び障がい者を対象に、病院や教習所、大学等が保有する送迎バスの空席を活用し、移動支援を行う 利用者には市が「パスカード」を発行	なし

議題1 「居場所」への移動支援について

③現在行われている移動支援

他市での取組

自家用車等を活用した取組

●木更津市

事業名	内容	費用負担
自家用車有償 旅客運送 (ふくちゃんバス)	交通不便地域 の会員登録者を対象に、周辺の商業施設等への デマンド型運行による移動支援を行う	会費:1,000円 運賃:500～ 1,000円

●市原市

事業名	内容	費用負担
送迎ボランティア サービス事業	高齢者及び障がい者で自力歩行が可能な方 を対象に、社協に 登録する運転ボランティアによる送迎を行う	車両の燃料費、有 料道路及び駐車 場の使用料

議題1 「居場所」への移動支援について

③現在行われている移動支援

他市での取組

その他の取組

●松戸市

事業名	内容	費用負担
グリーンスローモビリティ地域推進事業	時速20キロメートル未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービス 市が車両を購入して所有し、 ドライバーは地域住民がボランティアとして参加	無料

●柏市

事業名	内容	費用負担
柏ビレジコミュニティバス	高齢化が進む地域の足を確保するため、 柏ビレジの自治会が、 民間の運輸事業者の協力を得て 運営するコミュニティバス 柏ビレジの住民以外のどなたでも、利用可能	大人(高校生以上):200円 子ども(小・中学生)100円

議題1 「居場所」への移動支援について

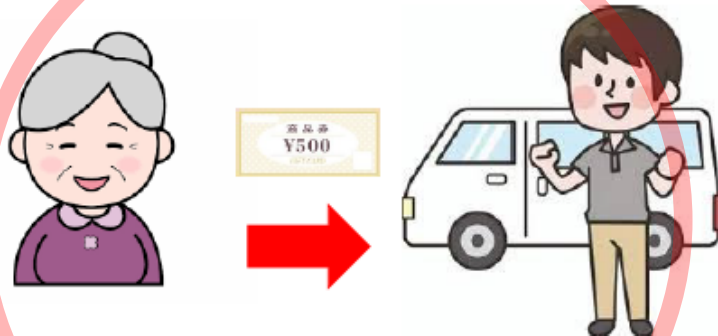
③現在行われている移動支援

道路交通法における許可又は登録を要しない運送に関するガイドライン(国土交通省)

●無償運送について

無償運送は、**道路運送法**による規制がなく、**運送を行える範囲も制限はなし**。

無償運送に伴う「**謝礼の支払い**」「**実費の請求及び支払い**」も許可の必要なし。



ボランティア・共助に
対するお礼の気持ち

①ガソリン代等の燃料費

②有料道路使用料

③駐車場代

④移動サービス専用保険料

⑤運送を行うために発生した車両借料



議題1 「居場所」への移動支援について

③現在行われている移動支援

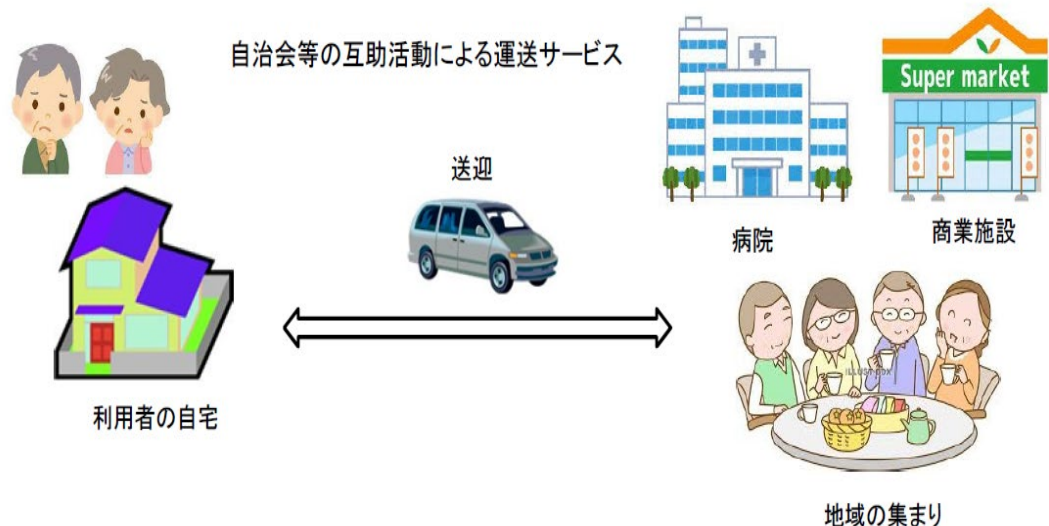
道路交通法における許可又は登録を要しない運送に関するガイドライン(国土交通省)

●地縁団体が行う運送サービス

社会福祉協議会、自治会・町内会、マンション管理組合等の**地縁団体の活動として、**
会員が負担する会費で行う運送サービスについて、許可等は必要なし。

運送サービスに伴い、以下の行為が可能

- ①会費で車両を調達すること
- ②会費から運転者に報酬を支払うこと
- ③運送サービスの利用の有無に応じ
会費に差を設けること



議題1 「居場所」への移動支援について

④意見交換

居場所への移動における課題、市川市で現在行われているサービス
他市で行われている取り組み、移動支援における基準緩和について

を振り返って・・・

●今後それぞれの団体で取り組みそうなことや提案
についてご意見をお願いします！

今後それぞれの団体で取り組みそうなことや提案の具体例

【市川市福祉公社】

- ・自費サービスになると思いますが、移動支援はできるかもしれない。
- ・移動支援をするには、各事業所が一律料金でできるような仕組みが必要。

議題2 令和5年度の地域ケア会議の報告

令和5年度 地域ケア個別会議 開催実績 計61回

【内訳】

	市主催	高サポ主催
開催回数	30件	31件
検討された地域課題	・意欲 ・外出・移動手段 ・閉じこもり・孤立 ・交流・通いの場 など 対象者の自立支援に向けた課題が多い	・<u>認知症</u> ・独居高齢者 ・<u>見守り体制</u> ・金銭・郵便管理 など 地域での支援が必要な課題が多い

議題2 令和5年度の地域ケア会議の報告

	独居高齢者	認知症
個別課題	体調が悪そうで周囲は心配 <u>本人は支援を必要としていない</u>	徘徊があるが、在宅生活が継続できるよう、地域でできることについて課題を共有・検討
検討された支援内容	・本人や近隣住民が対応に困らないよう、支援者間で対応方法を共有 ・今後生活環境の変化が生じ、支援が必要になった際の関係機関の役割分担	・ゴミ出し、洗濯、掃除、金銭管理、書類管理が難しくなっている ⇒民生委員や自治会役員と顔合わせを行い、気にかけてもらう
地域課題	地域で気になる高齢者の見守り体制を構築する必要がある	・困っている高齢者がいても気軽に声かけ等サポートができない ・地域の相談場所や見守り体制を構築する必要がある

議題3 第2回地域ケア推進会議における議題について

- 市主催地域ケア会議で挙げられた課題

＝「通いの場」、「移動支援」については、令和5年度及び今回で共有・検討

- 高サポ主催地域ケア会議で挙げられた課題

＝「認知症」、「見守り体制」については、地域ケア会議でも多く検討

第2回地域ケア推進会議における議題

「認知症」や「見守り体制」は、今後、独居高齢者の増加に伴い検討すべき事項になっていくことが想定されることから、次回会議の議題とする。